

第16号
平成27年
新年度

地域医療支援センターだより

今年度も、よろしくお願ひします



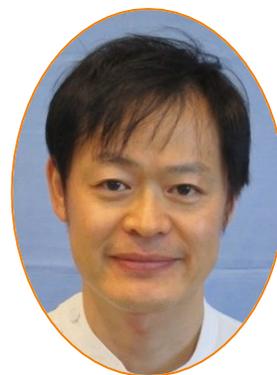
公立能登総合病院 副院長
地域医療支援センター
センター長 上木 修



4月に急逝いたしました橋本正明センター長のあと、センター長を拝命いたしました。平成23年4月に地域医療連携室と在宅支援部を統合し、地域連携に取り組む部署としてスタートして、はや5年目を迎えました。本年度、在宅支援の中心であった看護部門は、在宅医療充実を目的として新たに設立しました訪問看護ステーションへ移行いたしました。様々な変化のなか、地域の先生方との連携をはじめ、療養、介護施設との連携強化の窓口として、当センターの役割はますます大きくなってまいります。患者様の安全、安心のため、切れ目のない医療の提供をめざしてまいりますので、今後ともご支援賜りますようよろしくお願いいたします。



地域医療支援センター
副センター長 酒井 勉



この度、地域医療支援センター副センター長を務めさせていただくことになりました。内科医師として、日頃は外来診療や、また、通院が困難で在宅での療養を希望される患者様には訪問診療業務も行っております。このような業務を通じて、病院と地域の皆様、また開業医の先生方との連携を深め、能登地域の医療の質を高めることが、地域医療支援センターの役割とっております。私も微力ながら努力し、職員全員で協力してセンターを盛り上げていきたいと思ひます。

センターに新しい風

今年度より地域医療連携係に新メンバーを迎えました。

地域医療支援センター
地域医療連携係
看護師長 斎藤 好美



四月より地域連携支援センターに異動になりました斎藤です。当院の産婦人科病棟で30年間助産師として勤務してきました。3年前に外来に異動となり、外来業務に慣れてきたと思っていたところ、今回の異動となりまさに青天の霹靂でした。今は電話が鳴るたびにビクビクし、電話に出てはしどろもどろで対応している有様です。毎日、隣の佐波さんの支援を受けながら、業務を覚えているところです。早く、「要支援」から「自立」へと成長できるように頑張りますので、皆さま宜しくお願い致します。

訪問看護ステーション ☆開所しました☆

4月1日能登総合病院訪問看護ステーションがスタートしました。人工呼吸器など医療依存度の高い患者さんや精神の病気を療養中の患者さんにも対応できる事が特徴で、小児から高齢の方までご自宅で安心して療養していただけるようお手伝いをさせていただきます。「家で療養出来てよかった」と思っていただけの看護ができるよう、これからも8名で力を合わせ頑張っていきますのでよろしくお願い致します。

(訪問看護ステーション所長
島田 真弓)



ステーション入口の看板は、職員の手作りです。



地域医療支援センターのモットーは”つなぐ・つながる・つなげる“です。
院内外の皆様と手と手を取りあって繋がっていきたいと思います。

皆様 仲良く仲良く！ よろしく申し上げます！